

# 第 57 回日本森林学会北海道支部大会 プログラム

開催日:平成 20 年 11 月 10 日(月)

会 場:札幌コンベンションセンター

(札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1)

参加費:1,000 円

(シンポジウムのための参加, および学生は無料)

主催:日本森林学会北海道支部

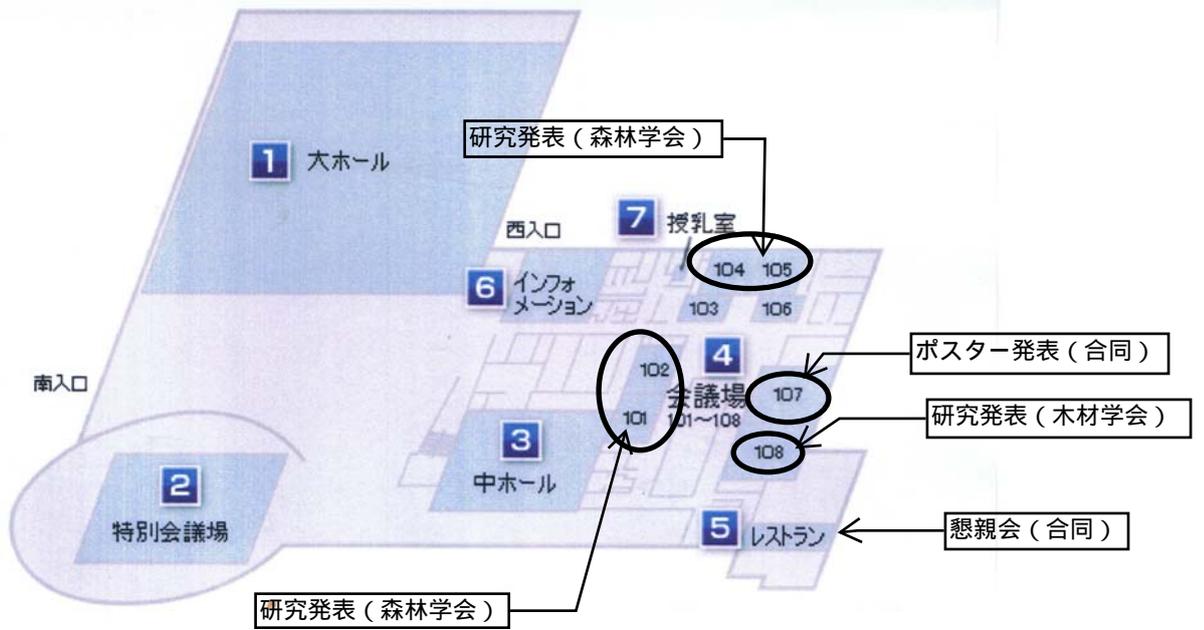
共催:日本森林技術協会北海道支部連合会

## 1. 大会・研究発表のタイムテーブルおよび会場

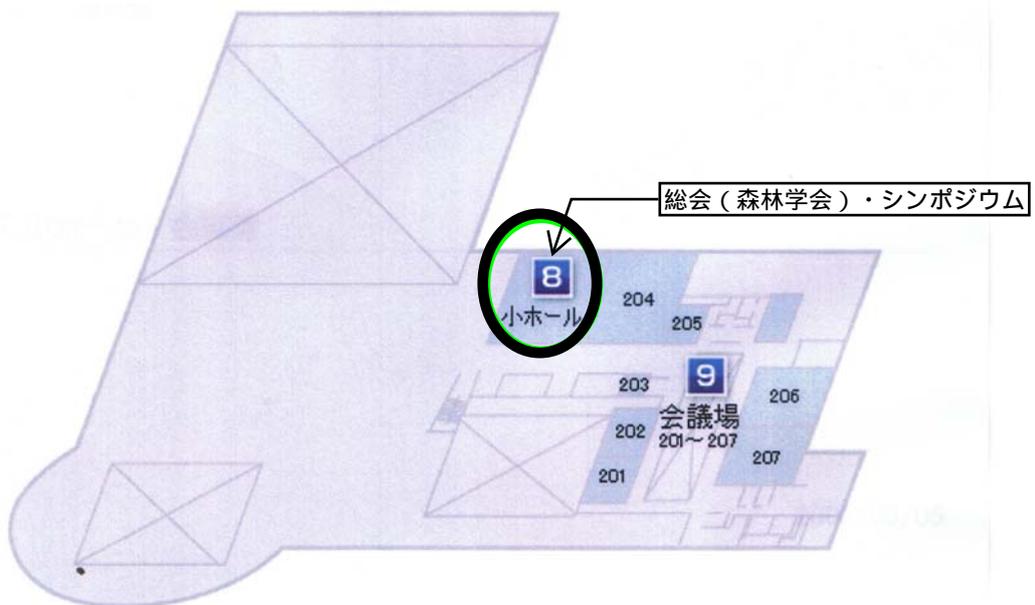
時刻	日本森林学会北海道支部大会	日本木材学会北海道支部研究発表会
9:00	受付 [1階・奥のフロア]	
9:30	総会 [2階・小ホール]	理事会 [1階・108号室]
10:30	シンポジウム [2階・小ホール]	
<p>「北海道の人工林資源の持続的管理と有効利用をめざして -林業再生研究会からの報告-」</p> <p>講演：熊谷 操氏(北海道庁)「人工林資源の状況と将来予測について」 八坂通泰氏(北海道立林業試験場)・立原泰直氏(北海道庁) 「北海道版カラマツ人工林収穫予測ソフトを利用した収益性の検討」 加藤幸浩氏(北海道立林産試験場)「道内の新築木造住宅で使用される 構造部材の定量把握と径級別丸太所要量の推定」</p> <p>討論：座長 高橋邦秀氏(林業再生研究会会長)</p>		
12:30	休憩	
13:30	ポスター発表コアタイム [1階・107号室]	
14:30	口頭発表 [1階・101, 102, 104, 105号室]	口頭発表 [1階・108号室]
	ポスター発表 [1階・107号室, 17時まで]	ポスター発表 [1階・107号室, 17時まで]
17:30		
18:00	懇親会 レストランSORA (コンベンションセンター1階)	

## 2. 会場案内（札幌コンベンションセンター）

〈1階〉



〈2階〉



## 第57回日本森林学会北海道支部大会 研究発表プログラム

分野: 造林1 (101会議室)

発表時間	演題	発表者(所属)
【座長: 山田健四】		
14:30-14:45	北海道ライラック観測網: 開花日の品種による違い	船越三朗
14:45-15:00	北海道におけるアオダモの種子形態と実生の地域変異	○那須仁弥・福田陽子(林木育種センター北海道育種場)
15:00-15:15	ニセアカシア種子における吸水部位の種子形成に伴う変化	○唐木貴行・近藤哲也・渡邊陽子・小池孝良(北大院農)
【座長: 倉本恵生】		
15:15-15:30	外来種ニセアカシアの埋土種子の動態	○真坂一彦・山田健四・佐藤 創・今 博計・鳥田宏行(道立林試)
15:30-15:45	異なる光環境下におけるニセアカシアの光合成と窒素利用特性の季節変化	○兼俊壮明(北大院農)・北岡 哲(森林総研北海道)・渡辺 誠(北大院農)・江口則和(北大FSC)・小林 真(北大院農)・渡邊陽子(北大FSC)・斎藤秀之・小池孝良(北大院農)
15:45-16:00	ニセアカシア稚樹の成長と根圏抑制の影響 — 札幌研究林実験苗畑を利用した予報 —	○松並志郎(北大院農)・小林 真(北大院農)・里村多香美(香川大農)・市川 一・秋林幸男・笹賀一郎(北大FSC)・小池孝良(北大院農)
16:00-16:15	土壌乾燥がブナ稚樹の個葉の形態と生理機能に及ぼす影響	○小池孝良(北大院農)・北尾光俊・北岡 哲(森林総研北海道)・渡辺 誠(北大院農)・丸山温(森林総研北海道)
【座長: 飛田博順】		
16:15-16:30	高CO <sub>2</sub> 処理と窒素付加がオノエヤナギの葉のメタン放出に与える影響	○渡辺 誠(北大院農)・北岡 哲・飛田博順・上村 章・宇都木玄(森林総研北海道)・小池孝良(北大院農)
16:30-16:45	高CO <sub>2</sub> と窒素付加環境で生育した落葉広葉樹個葉の被食防衛物質の局在	○日向潔美・渡邊陽子(北大院農)・北岡 哲(森林総研北海道)・渡辺 誠(北大院農)・飛田博順・上村 章・宇都木玄・北尾光俊(森林総研北海道)・小池孝良(北大院農)
16:45-17:00	窒素付加が蛇紋岩土壌に植栽したグイマツ雑種F <sub>1</sub> の光合成能力と成長に与える影響	○笠 小春・渡辺 誠(北大院農)・高木健太郎・柴田英昭・野村 睦(北大FSC)・小池孝良(北大院農)
17:00-17:15	上層木伐採がハリギリ更新樹の光合成特性に及ぼす影響 — トドマツ主伐後の初年度の影響 —	○矢沢俊悟・渡邊陽子・小林 真(北大院農)・北岡 哲(森林総研北海道)・高橋廣行・北條元・上浦達哉・野村 睦(北大FSC)・斎藤秀之・小池孝良(北大院農)
17:15-17:30	土壌中の炭の分布様式がグイマツ実生の成長へ与える影響	○小林 真・Kim Yong-Suk・小島康夫・玉井裕・小池孝良(北大院農)

分野：造林2（102会議室）

発表時間	演題	発表者(所属)
【座長：春木雅寛】		
14:30-14:45	砂防工事跡地の樹木実生の生残・成長とマルチング効果	○常田和芳・矢島 崇・菊池俊一(北大院農)・南里智之(北海道建設部土木局)・玉井 裕・宮本敏澄(北大院農)
14:45-15:00	エゾシカ防除柵内外のササ稈数の推移と実生の消長 —京都大学フィールド科学教育研究センター北海道研究林白糠区における10年間の推移—	○高橋絵里奈(島根大生物資源科学部)・竹内典之(元京大フィールド科学教育研究センター)・柳本 順・柳 直文・佐藤修一・古本浩望(京大フィールド科学教育研究センター)
15:00-15:15	東シベリアにおけるカラマツ林のサイズ構造の林分間変動	○城田徹央・斎藤秀之・渋谷正人(北大院農)・高橋邦秀
【座長：鳥田宏行】		
15:15-15:30	Liderデータを用いた林冠攪乱強度と森林構造の関係	○宇都木玄・高橋正義・飛田博順・上村 章・北岡 哲・阪田匡司(森林総研北海道)・鷹尾 元(森林総研)・渡辺 力(北大低温研)
15:30-15:45	Liderデータを用いた風害被害林の経年変化	○高橋正義(森林総研北海道)・鷹尾 元(森林総研)・宇都木玄・石橋 聡(森林総研北海道)
15:45-16:00	台風攪乱を受けた落葉広葉樹林におけるササの反応と根返り木の生残率	○飛田博順・宇都木玄・北村兼三・上村 章・北尾光俊・北岡 哲・飯田滋生・丸山 温(森林総研北海道)
16:00-16:15	樹形と根返り抵抗性	○渋谷正人・小泉章夫(北大院農)・鳥田宏行(道立林試)
16:15-16:30	風害を軽減するための針葉樹人工林の林分管理指針	○浦田 格・飯島勇人・渋谷正人(北大院農)・鳥田宏行(道立林試)
【座長：渋谷正人】		
16:30-16:45	人工造林はエゾマツの資源回復に有効か？ —40年以上が経過したエゾマツ造林地の生育状況—	○岡平卓巳・松井理生・五十嵐勇治・千徳勝洋(東大北演)・後藤 晋(東大田無試験地)
16:45-17:00	低密度植栽後24年間のグイマツ雑種 $F_1$ の成長	○山田健四・八坂通泰・大野泰之・中川昌彦(道立林試)
17:00-17:15	間伐コスト低減にむけた強度間伐の有効性 —強度間伐が実施されたカラマツ人工林の24年間の成長—	○八坂通泰・山田健四・大野泰之・中川昌彦(道立林試)
17:15-17:30	低密度で植栽されたグイマツ雑種 $F_1$ に対する早期枝打ちの可能性	滝谷美香・来田和人・内山和子・八坂通泰・大野泰之(道立林試)・小山浩正(山形大農)・梅木清(千葉大)・山田健四・中川昌彦(道立林試)

分野： 森林技術・経営・立地（104会議室）

発表時間	演題	発表者(所属)
【座長：高橋正義】		
14:30-14:45	GPSを用いた収穫木探索の効率性評価	○宅間隆二・廣川俊英・岡村行治・尾張敏章(東大北演)
14:45-15:00	東京大学北海道演習林における風倒リスクの時空間的変異に関する研究	○中島 徹(東大農)・尾張敏章(東大北演)・龍原 哲(東大農)・李 定洙(江原大学)・白石則彦(東大農)
【座長：石橋 聰】		
15:00-15:15	東京大学北海道演習林における択伐施業林と無施業林の更新状況の比較	○高橋功一・犬飼 浩・福士憲司・村川功雄・小池征寛・犬飼慎也・尾張敏章(東大北演)
15:15-15:30	東京大学北海道演習林における択伐施業林と保存林の林分構造の比較	○小池征寛・犬飼 浩・福士憲司・村川功雄・高橋功一・犬飼慎也・尾張敏章(東大北演)
15:30-15:45	ロングリーチハーベスタによる間伐作業事例	○木幡靖夫・渡辺一郎・酒井明香・藤八雅幸(道立林試)・佐々木尚三(森林総研北海道)
【座長：八坂通泰】		
15:45-16:00	空中写真による寿都半島「大和の沢」周辺のブナ分布について	○板垣恒夫(技術士事務所)・春木雅寛(北大院環境)・並川寛司(北海道教育大札幌校)・松本誠(後志森林管理署黒松内森林事務所)・蛭沢孝彦(寿都町Club風の学校)
16:00-16:15	北限地域寿都町管内のブナの立地環境と密な更新例	○春木雅寛(北大院環境)・板垣恒夫(技術士事務所)・並川寛司(北海道教育大札幌校)・松本誠(後志森林管理署黒松内森林事務所)・蛭沢隆彦(寿都町Club風の学校)
16:15-16:30	大雪天然林における林分成長と枯損 — 択伐の有無による15年間の比較 —	○石橋 聰・高橋正義・佐々木尚三・立花 敏(森林総研北海道)・鷹尾 元・佐野 真(森林総研)
【座長：佐藤弘和】		
16:30-16:45	有珠山の森林形成過程における土壌環境について	○川久保恵理・山東 豪・春木雅寛(北大院環境)
16:45-17:00	有珠山火口の立地と土壌	○山東 豪・春木雅寛・川久保恵理(北大院環境)
17:00-17:15	風倒枯死木からのCO <sub>2</sub> 放出量の推定 — 羊ヶ丘実験林風倒被害3年後における試算 —	○阪田匡司・宇都木玄・相澤州平(森林総研北海道)・酒井佳美・石塚成宏(森林総研)
17:15-17:30	小樽内川および白井川の支流における流域間の渓流水質の差異	○相澤州平・阪田匡司(森林総研北海道)・田中永晴(森林総研)・酒井寿夫(森林総研四国)

分野： 利用・林政・保護・防災（105会議室）

発表時間	演題	発表者(所属)
【座長：森本淳子】		
14:30-14:45	大雨による河川流木の移動実態	○佐藤 創・長坂 有・真坂一彦・菅野正人・鳥田宏行(道立林試)・斎藤直人・清野新一(道立林産試)
14:45-15:00	強風による森林被害の危険度予測	鳥田宏行(道立林試)
15:00-15:15	ハーベスタの林内作業について	○佐々木尚三(森林総研北海道)・大澤友厚(大澤木材(株))・田中良明(森林総研)・松本 廣(道森林管理局)・渡辺良範(林業技士会)
15:15-15:30	牧場跡地の機械地拵え作業の事例	○渡辺一郎・酒井明香・石川茂雄(道立林試)
【座長：神沼公三郎】		
15:30-15:45	木材価格の変動に関する一考察	立花 敏(森林総研北海道)
15:45-16:00	ドイツの作家が描く森林像ーグリム兄弟とステイファの例ー	○石井 寛・岡田江里(北大院文)
【座長：斎藤秀之】		
16:00-16:15	森林性両生類の繁殖場所選択と繁殖成功	○永美暢久・中村太士・赤坂卓美(北大院農)
16:15-16:30	積雪下におけるシカ沈下量のポールによる予測	○南野一博・明石信廣(道立林試)
16:30-16:45	北方針広混交林における稚樹の成長と光環境との関係	○中馬美咲(東大農学生命科学研究科)・梶幹男(東大北演)
【座長：宮本敏澄】		
16:45-17:00	樽前山山麓2004年18号台風風倒地における2008年度ヤツバキクイムシ類被害状況	上田明良(森林総研北海道)・井口和信(東大千葉演)
17:00-17:15	苗畑における暗色雪腐れ病発生状況と今後の課題	○小川 瞳(東大北演)・鴨田重裕(東大樹芸研究所)・道上昭夫・大屋一美(東大北演)
17:15-17:30	カラマツ根株腐朽木と健全木における根株径の比較および根株腐朽被害と根株径サイズの関係	山口岳広(森林総研北海道)

ポスター発表 (107会議室)

ポスター掲示: 12:00-16:00 《コアタイム:奇数番号 13:30-14:00, 偶数番号 14:00-14:30》

ポスター番号	演題	発表者(所属)
〈造林〉		
P-1	標茶町雷別地区外2箇所における土壌凍結の実態 -平成19~20年の調査結果から-	渡辺洋之(北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター)
P-2	クマイザサのクローンにおけるフラボノイド含量と光環境	○山崎雅夫・松田友彦(東京農大生物産業学部)・錦織正智(道立林試)・富塚 登・西澤 信・鈴木悌司(東京農大生物産業学部)
P-3	群落の異なるクマイザサのフラボノイド組成	○松田友彦・山崎雅夫(東京農大生物産業学部)・錦織正智(道立林試)・富塚 登・鈴木悌司・西澤 信(東京農大生物産業学部)
P-4	異なる地拵処理を行ったカラマツ人工林床での種子播種試験 -木本類の侵入契機に関する考察-	阿部友幸(道立林試)
P-5	「オホーツクの森」自然再生モデル事業地における森林遷移状況について	○国沢 修・石橋暢生(常呂川森林環境保全ふれあいセンター)
P-6	間伐率が樹幹細りにおよぼす影響 -レラスコープ式デンドロメーターを用いた検討-	○今井 良・松本和茂・安久津久(道立林産試)・八坂通泰(道立林試)
P-7	ヨーロッパシラカンバと道産カンバ類3種の交雑組み合わせと果実の形質	○倉本恵生(森林総研北海道)・津田吉晃(森林総研)・竹田貴彦(王子製紙森林博物館)・篠原健司(森林総研)
P-8	大気中CO <sub>2</sub> 濃度の増加が冷温帯樹木の成長及び競争関係にもたらす影響	○江口則和(北大FSC)・上田龍四朗(北海道ダルトン)・高木健太郎(北大FSC)・船田 良(東京農工大)・日浦勉・笹賀一郎(北大FSC)・小池孝良(北大院農)
P-9	開放系大気CO <sub>2</sub> 増加(FACE)施設で育成した冷温帯主要落葉樹萌芽の光および窒素利用特性	○北岡 哲(森林総研北海道)・渡辺 誠・渡辺陽子(北大院農)・飛田博順・上村 章・宇都木玄(森林総研北海道)・江口則和・笹賀一郎(北大FSC)・小池孝良(北大院農)
P-10	シラカンバが優占する落葉広葉樹林のCO <sub>2</sub> フラックス観測(IV) -2007年のCO <sub>2</sub> フラックスの季節変化-	○北村兼三・山野井克己(森林総研北海道)・中井裕一郎(森林総研)
P-11	ハンノキ属2種の水分特性に対する高CO <sub>2</sub> 濃度の影響	○上村 章・飛田博順・北岡 哲・宇都木玄(森林総研北海道)
〈立地〉		
P-13	ハンノキ林拡大域におけるハンノキ個体の定着パターン	○志田祐一郎・中村太士(北大院農)
〈利用〉		
P-14	里山林業方式の新しい耕地防風林づくりについて	斎藤新一郎
P-15	全木集材方式による未利用木質バイオマス収集コストの削減と物質動態への影響	○永岡 彩(北大院環境)・秋林幸男・野村 睦・高木健太郎・上浦達哉・北條 元・高橋廣行・小塚 力・坂井 励・笹賀一郎(北大FSC)
〈経営〉		
P-16	林地残材のエネルギー利用に向けた収集・チップ化システムの検討② -アカエゾマツ除伐の事例	○酒井明香・渡辺一郎(道立林試)
〈林政〉		
P-17	環境保全に関わる市民団体を支援する中間支援組織に求められている役割 -札幌都市圏を事例として-	北條堯士(北大院農)